

Tsuyama College		Year	2017		Course Title	体育
Course Information						
Course Code	0071		Course Category	General / Compulsory		
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 1		
Department	Department of Mechanical Engineering		Student Grade	4th		
Term	Year-round		Classes per Week	1		
Textbook and/or Teaching Materials	参考書：高橋健夫ほか（編）『ステップアップ高校スポーツ』（大修館書店） その他、授業に応じてプリントやビデオを使用することがある。					
Instructor	UCHIKURA Koji,TAMURA Hirohumi					
Course Objectives						
学習目的：各種スポーツを行うなかで、個人的、集団的運動技術を習得する。さらに、「生涯スポーツ」の観点から、自主的かつ合理的な運動の実践（準備・片付け、ウォームアップ・クールダウンなど）ができる知識ならびに能力を身に付ける。また、グループでの活動を通して、「他者の話を聞くこと」、「他者と協力すること」といった、集団行動に必要な力を身につける。						
到達目標						
1. 各種スポーツの実践に必要な準備やゲーム進行ができる。						
2. 他者の意見を正しく理解し、他者の意見に対する、自らの意見を明確に表現できる。						
◎ 3. 周囲の状況と自らの立場を照らし合わせ、自身の長所を活かしながら集団の中で行動ができる。						
4. 課題の解決や目標達成のために、自らの役割を認識し、率先して行動したり、他者と協調して行動したりすることができる。						
Rubric						
	優	良	可	不可		
評価項目1	各種スポーツに必要な道具、試合進行の仕方について理解し、率先して準備・運営をする。	各種スポーツに必要な道具、試合進行の仕方について理解している。	各種スポーツに必要な道具、試合進行の仕方について5割程度理解している。	各種スポーツに必要な道具、試合進行の仕方についてまったく理解していない。		
評価項目2	他者の意見を理解し、それを踏まえて自らの意見を表現できる。	他者の意見をいつでも聞くことができる。自らの意見をいつでも表現できる。	他者の意見を聞くことができる。自らの意見を表現しようことができる。	他者の意見を全く聞き入れない。自らの意見を全く表現できない。		
評価項目3	置かれた状況を理解し、その中で、自らの長所を発揮しながら集団の中で行動できる。	集団の中で、どういった状況に置かれているのかを理解することができる。また、集団の調和を乱すことなく行動できる。	集団の中で、どういった状況に置かれているのかを理解しようとする。	置かれた状況に関わらず、自らの欲求を満たす行動を取り、集団の調和を乱す。		
評価項目4	課題解決や目標達成のために、何が必要であるかわかり、他者と協調しながら、自らすべきことを遂行することができる。	課題が何であるのかを認識することができる。また、その解決や目標の達成に向けて努力することができる。	課題を認識しようとし、課題を解決する手段を考えることができる。	課題が何であるのかを認識することができていない。また、目標の達成に向けて行動を伴わない。		
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	一般・保健体育 保健においては「現代社会における健康のあり方」を、体育においては各種スポーツを通して、基礎的な体力を保持・増進しながら、運動の特性について理解を深めていく。					
Style	授業の方法：体育においては、基礎的な技術を学んだ上で、ゲームを中心とした授業を実施する。なお、天候等により、内容を変更することもある。また、保健の授業は板書・プリント等を用いた説明を中心に具体的事例を取り上げながら進めていく。 成績評価方法：授業での小テスト（50％：個人的及び集団的技術の理解・習得ができていないか）、課題解決能力の判定（30％：毎回授業に参加し、自らの技術上の課題を認識し、他者の意見を参考にしながら、自らの能力向上に努めているか）、主体性及び協調性の判定（20％：授業において、自ら率先して行動したり、他者と協力したりできているか）を総合して評価する。なお、遅刻や欠課は成績に反映される。					
Notice	履修上の注意：学年の課程修了のためには履修（欠席時間数が所定授業時間数の3分の1以下）・修得が必要である。運動に適した服装で、装飾品（時計、ネックレス等）を一切身に付けていない状態で受講すること。 履修のアドバイス：これまでに習得した技術や知識を活かしながら、準備やゲームの進行に積極的に関わること。 基礎・関連科目：保健・体育Ⅰ（1年）、保健・体育Ⅱ（2）、保健・体育Ⅲ（3） 受講上のアドバイス：授業開始時間から5分を超えて授業に参加した場合は「遅刻」、20分を超えて授業に参加した場合は「欠課」扱いとする。さらに4回の遅刻で1回の欠課とみなす。実技系科目であるので、毎回の授業に出席することが大切であるが、「出席さえしておけばよい」「テストさえできればよい」という考えを持たないこと。毎回の授業を通して、常に自分の能力を向上させようとする意欲と態度を持ちながら授業に取り組むことが大切である。服装や授業の準備・後片付け、審判や得点係などの仕事についても、スポーツにおいて重要なものであることを学び、実践して欲しい。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	前期ガイダンス			
		2nd	スポーツテスト			
		3rd	スポーツテスト			
		4th	ソフトテニス, バドミントン			
		5th	ソフトテニス, バドミントン			
		6th	ソフトテニス, バドミントン			
		7th	ソフトテニス, バドミントン			
		8th	ソフトテニス, バドミントン			

	2nd Quarter	9th	ソフトテニス, バドミントン	
		10th	ソフトテニス, バドミントン	
		11th	ソフトテニス, バドミントン	
		12th	ソフトテニス, バドミントン	
		13th	ソフトテニス, バドミントン	
		14th	ソフトテニス, バドミントン	
		15th	ソフトテニス, バドミントン	
		16th		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	後期ガイダンス（行うスポーツ種目の決定）	
		2nd	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		3rd	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		4th	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		5th	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		6th	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		7th	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		8th	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
	4th Quarter	9th	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		10th	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		11th	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		12th	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		13th	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		14th	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		15th	選択制授業（ガイダンス時に選択した種目を実施する）	
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	Total
Subtotal	0	0	0	20	30	50	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	20	30	50	100